



市P連Ny u - s u !

平成 19 年 11 月 14 日発行

鈴鹿市 P T A 連合会
調査広報部作成



単P活動報告 (6/15小学校代表者会で発表された3校を紹介します)

鼓ヶ浦小学校 【防災研修会】

鼓ヶ浦小学校は避難場所になっていますが、私たちは避難場所について何の知識もありませんでした。そこで8自治会の会長さんと協議し、防災勉強会を三回にわたって執り行いました。一回目は、災害ボランティアの方々や神戸の語り部さんから話を聞きました。二回目は、神戸の「人と防災未来センター」を見学に行きました。三回目は、小学校の避難場所運営について地域の方たちと語り合いました。P T A だけで防災勉強会を行うのは中々困難な事もあり、地域を巻き込んで行う必要性を感じました。三年間継続して取り組んできた結果、少しずつ皆さんの意識に変化が見られるようになりました。今後も引き続き取り組んで行きたいと思ひます。

牧田小学校 【メール配信システム】

牧田小学校では、学校連絡や不審者情報をお知らせする為にメール配信システムを導入し、配信ラインが5つあるうちの4つを使用しています。ポルトガル語とスペイン語のラインも一つずつあります。現在は、メールと電話連絡を併用して活用していますが、今年度からメールのみでの連絡希望者は、電話連絡から除外しています。下校時刻が大きくずれるなどの連絡がメールでスムーズに届くため、学校への問い合わせがなくなりました。また、行事の呼びかけに利用すると、参加者が増加するなどの効果もありました。

神戸小学校 【安全マップ作成】

神戸小学校では、P T A が中心になって安全マップを作成しました。(この様子はC N S の特集で放映されました。)子どもたちがそれぞれ町を調査し、51分割された特大の地図に調べた情報を書き込みました。通い慣れたところに危険がいっぱい潜んでいることがあらためてわかり子どもたちは、ビックリしていました。また、「子どもを守る家」の確認もでき、自分たちで気をつけられる様になりました。後日、縮小版のマップを子どもたちに配布しました。今後は通学路だけでなくエリア全体に広げたマップを地域の協力もいただき作成していきたく思っています。

